

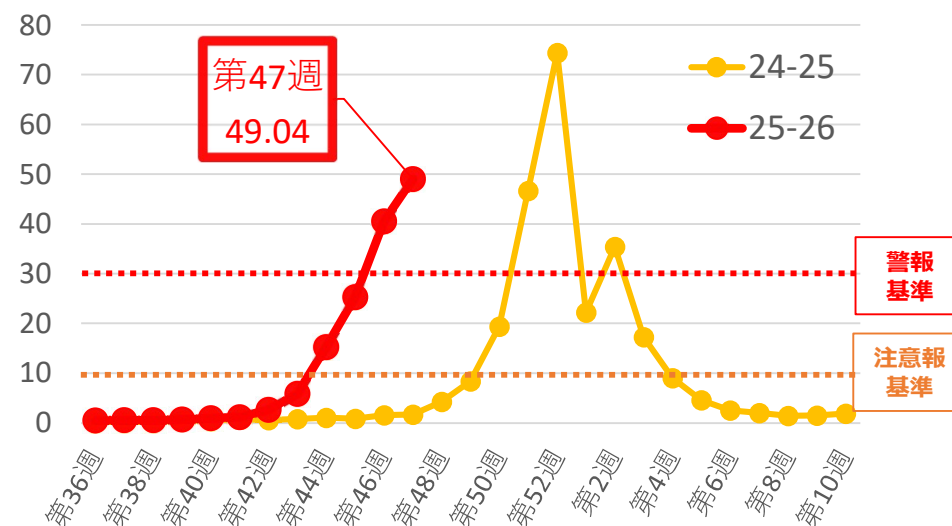
インフルエンザに関する注意喚起

1 感染状況

兵庫県内の令和7年第46週(11月10日から11月16日)に、昨シーズンより5週早く、1定点あたり40.57人と警報レベル(30人以上)に達した。

第47週(11月17日から11月23日)の1定点あたり報告数が49.04人となり、更に増加した。

インフルエンザの定点当りの患者発生状況（県内）



2 県民の皆様へ

- 手洗い、手指消毒、マスクの着用を含む咳エチケット、適切な換気を心がけましょう。
- インフルエンザにかかったかなと思ったら、無理をして学校や職場に行かないようにしましょう。
- 高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦、乳幼児は重症化するリスクが高くなります。人が多く集まる場所への外出を避け、やむを得ない時はマスクの着用が予防に効果的です。
- 予防接種は感染後に発症する可能性を低減する効果と、発症後の重症化防止に有効と報告されています。未接種の方は予防接種の検討をお願いします。